



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	都市社会学：昭和28年度特殊講義案 第8巻
Author(s)	鈴木，栄太郎
Description	東洋大学社会学部大学院社会学研究科講義案。体系篇。
Issue Date	1953
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77388
Type	manuscript
File Information	N016_01S28.pdf



SUPERIOR NOTEBOOK
MADE FROM FINEST PAPER

都市社会学

二十八年度
特殊语言集

第八卷

体系篇

都市社会学
特殊语言集
第八卷
体系篇



その時に書かれた

可也。又、 $\frac{1}{2}$ - $\frac{1}{4}$ 也。

(前证的欵一)

都市の内外に、水と汽機を分設し、
成層、群集、統計を基として、
及べば統計

社會學

都市勢力圏生活圏

上通勤子(考)

3

市民生活園 (第一、第二、第三)

成層

7 都市の
社会成層

1/8

田世常先生治政錄

歩路の
平均都市住民の
都市平均人の一

群集

12 都多の群集

五、全地

4 都市の発展

5-

的
子
華
街
、
高
元
街

7

郊外

制交趾傳

13

都市に於ける居住の環境

统计局

31-631

2.

都

1

34

5

代化生

的
鉄
石

I II III は「ト」特殊清義案 都市と村爲一の巻に
 ① ② ③ 等は「ト」都市と村爲一の巻に
 都市と村爲一の巻に

緒言

第一節

都市の社会的研究

都市社会学の領域と位置

都市社会調査

第二節

本書に於ける論議の要旨

と順序

第三節

都市の概観

第二章 東京市の概況

第一節 人口と政治・地域的制約

第二章 地域的制約

第三章 東京市の概況と人口

第四章 東京市と都市の別

第五章 都市の社会構造

第一節

都市の社会構造について。
従来の研究

第二節

正常人の社会生活の
理論 生活と社会

第三節

都市の社会構造論

第四章

（民生に於ける都市の分布と構造）（都市機能論）（社会の諸部としての都市）

一、経済的諸部

（物と技術即ち商と工）

二、政治的諸部、暴力的諸部

（文化的諸部、教育的諸部）

（商店、娯楽、住宅、学校）

諸部、機能

備

平場、郵便局

二九、加、才、一、中、平

第一項 都市の基本的な集合
第一節 序説

第二節 世帯

第三節 職域集合

第四節 地区集合

第五節 生活抵抗集合

第六節 都市の発展と無味ある傾向

第七節 地区集合としての高層街

集合とギルドと産業

第八節 基本的集合における

近代化の方向

第九節 都市の発展と職域集合

第十節

都市の発展と都市の集合とその発展の方向

都市の発展と都市の集合とその発展の方向

都市の発展と都市の集合とその発展の方向

第二章 都市の形成とその歴史

第一節 都市の形成とその歴史

③ 血縁、近隣、同僚、友人、学友の定型的関係

第二節 都市の形成とその歴史

④ 都市の形成とその歴史

市としての統一

第七号 都市の内外に存する北の圏

北の階層 群集組織

北の地区 及び

席設

旧陸軍

第一号 都市勢力圏 生活圏 準都市圏

第二号 通勤圏 通学圏

第三号 通商圏

第四号 都市の景観区分

第五号 都市内の高層群集生活圏

第六号 都市幹線 (第一次中心街と第二次中心街)

第七号 郊外

第九号 都市の社会秩序

第十号 青年生活

第十一号 田舎生活と群

4. 1. 2

4. 3

4. 3

11 都市の群衆

8 都市における居住組織の諸形態

15 都十四市販賣組織の諸形態

16 都十五市八百屋と子ハート

12 都五市商店街組合、同業組合
都五市商店街組合、同業組合

14 都市の人口構成と流動

15 都市生活の時間的組織（歳事考）

第八章

都市の地方的統一性の問題

序説

第一節

城壁土

第二節

集落形態の立地するもの

第三節

農村の上都市的の区別と統合

第四節

政治的統一

第五節

経済的統一

第六節

社会面における統一と生活協同

作現論

第七節

都市の限界と生活協同

作の限界

第八節

限界決定のための調査項目

第九章 都市の近代化と都市の発展

乃丁孝子 郭希仁 於此。時丁的 朱序

第十一章 都市と自然

統一性 自然

一、現代大都市は都市

連合体 (生活圏の存在と都市同様の機能)

二、都市と自然

自然都市と自然村

都市の連合体 又は都市連合体

政治的統一性 都市と都市

又は都市と都市の結合性